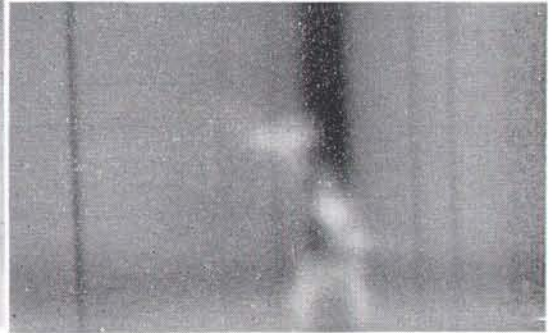


# 月報アルバム

## “Eruptive” プロミネンスのスペクトル ( $H_{\alpha}$ 輝線)



(Fe) 69.28

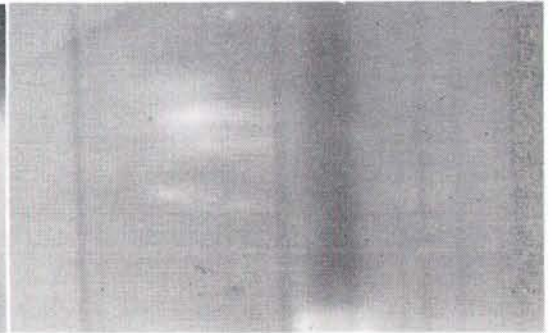
U. T. 1 h 12 m

(中心波長)  
6562.80  
Å

(Ti) 59.59  
(大気) 60.57

U. T. 1 h 25 m

+3Å      0      -3Å



U. T. 8 h 00 m

U. T. 8 h 02 m

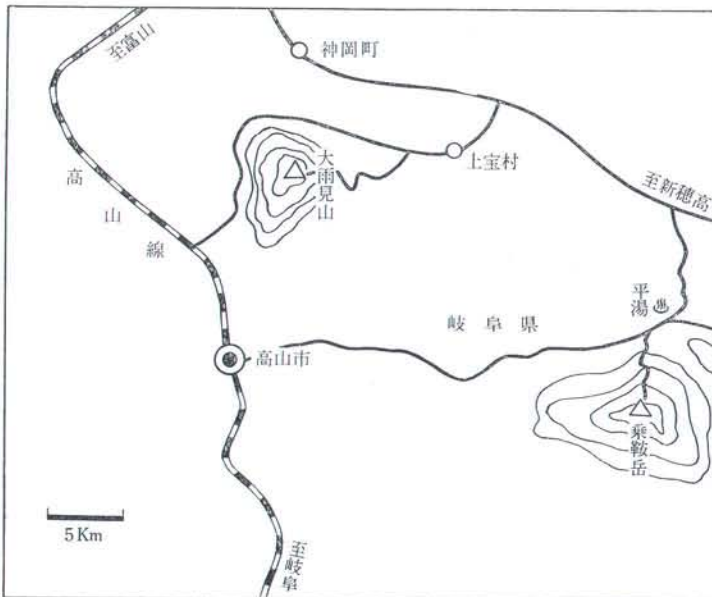


U. T. 8 h 09 m

U. T. 8 h 10 m

花山天文台 で 1966 年 3 月 27 日 撮影 (p. 61 参照)

京大惑星天文台建設予定地



京都大学では、昭和 38 年から、惑星天文台候補地を調査していたが、最終候補地として、岐阜県吉城郡上宝村大雨見山を選定した。建設は昭和 42 年度より開始の予定である。この頁の上の写真はその予定地である。（遠くに見える山は木曾の御岳）



① 美が原焼山附近の調査テント（昭和 38 年 8 月）

② 上宝村十三墓峠 視察の 京大首脳部（昭和 38 年 10 月）。左より速水理学部長、平沢 総長（いずれも当時）、一人おいて横田事務局長。



③ 長野県富士見町八が岳編笠山の観測小屋。（昭和 39 年 8 月）

④ 昭和 40 年 9 月 10 日、台風 23 号のために 倒れた大雨見山観測小屋。

